

アムンディ・欧州ハイ・イールド債券ファンド

販売用資料
2021年4月

ユーロコース

米ドルコース

豪ドルコース

ブラジルレアルコース

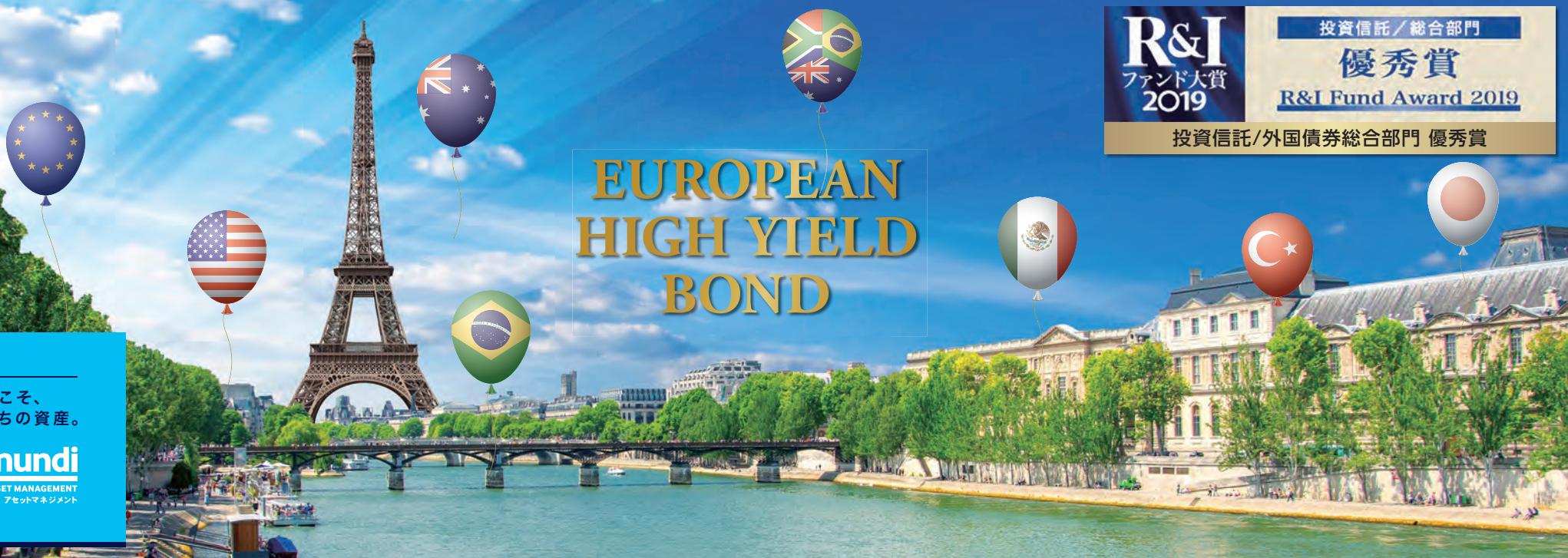
資源国通貨コース

メキシコペソコース

トルコリラコース

円コース

追加型投信／海外／債券



お申込みの際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。*マネックス証券では、米ドルコース、資源国通貨コースおよび円コースの取扱いはございません。

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お申込みは

 マネックス証券

商号等：マネックス証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

一般社団法人金融先物取引業協会

(投資信託)/総合部門

「R&Iファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業者に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。「投資信託/総合部門」の各カテゴリーは、受賞運用会社の該当ファンドの平均的な運用実績を評価したもので、受賞運用会社の全ての個別ファンドについて運用実績が優れていることを示すものではありません。

上記8コースを総称して「各ファンド」といいます。当資料のご使用に際し、13ページのご留意事項を必ずご確認ください。

設定・運用は


Amundi
ASSET MANAGEMENT
アムンディ アセットマネジメント

商号等：アムンディ・ジャパン株式会社(金融商品取引業者)

登録番号 関東財務局長(金商)第350号

加入協会：一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

日本証券業協会 一般社団法人第二種金融商品取引業協会

ファンドにおける収益の源泉

- 各ファンドは、通貨選択型の投資信託です。
- 通貨選択型の投資信託は、株式や債券などの投資対象資産への投資に加えて、為替取引の対象通貨を選択できるように設計された投資信託です。
- 以下の収益源に相応してリスクが内在していることに注意が必要です。

ポイント 1 欧州のハイイールド債に投資

欧州のハイイールド債を実質的な主要投資対象とすることで、高水準のインカムゲインの確保と中長期的な投資信託財産の成長を目指します。

ポイント 2 為替取引の活用

各コースにより、為替取引が異なります。米ドルコース、豪ドルコース、ブラジルレアルコース、資源国通貨コース、メキシコペソコースおよびトルコリラコースでは、ユーロ売り／取引対象通貨買いの為替取引を行います。円コースでは、対円での為替ヘッジによりユーロ建資産の為替変動リスクの低減を図ります。また、ユーロコースでは対円での為替ヘッジを行いません。ユーロより金利が高い通貨で為替取引を行う場合は、プレミアム(金利差相当分の収益)が期待できます。反対に、金利が低い通貨で為替取引を行う場合は、コスト(金利差相当分の費用)が生じます。

ポイント 3 「選べる通貨」為替変動によるリターンの可能性も

ユーロおよび取引対象通貨(円コースを除く)が対円で上昇(円安)した場合、為替差益を得ることができます。反対に、ユーロおよび取引対象通貨(円コースを除く)が対円で下落(円高)した場合、為替差損が発生します。

<ファンドの収益源/基準価額変動要因のイメージ>

ポイント1

	ユーロコース
	米ドルコース
	豪ドルコース
	ブラジルレアルコース
	資源国通貨コース
	メキシコペソコース
	トルコリラコース
	円コース

欧州のハイイールド債

ポイント2 為替取引によるプレミアム/コスト

+	ユーロ/米ドル
+	ユーロ/豪ドル
+	ユーロ/ブラジルレアル
+	ユーロ/資源国通貨*
+	ユーロ/メキシコペソ
+	ユーロ/トルコリラ
+	ユーロ/円

ポイント3 為替変動

+	円/ユーロ
+	円/米ドル
+	円/豪ドル
+	円/ブラジルレアル
+	円/資源国通貨*
+	円/メキシコペソ
+	円/トルコリラ

※資源国通貨とは…

原則として、代表的な資源国であるブラジル、オーストラリアおよび南アフリカの3カ国の通貨(ブラジルレアル、豪ドルおよび南アフリカランド)を均等に配分したものをお以下「資源国通貨」といいます。実際には「IHFシェアクラス、豪ドル」、「IHFシェアクラス、南アフリカランド」、「ブラジルレアル(IHFシェアクラス、円)」の3つのシェアクラスに均等に投資することで実現します。

*当資料における「取引対象通貨」は、「米ドル」、「豪ドル」、「ブラジルレアル」、「資源国通貨(ブラジルレアル、豪ドルおよび南アフリカランド)」、「メキシコペソ」、「トルコリラ」、「円」を指します。

◆資金動向および市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

当資料のご使用に際し、13ページのご留意事項を必ずご確認ください。

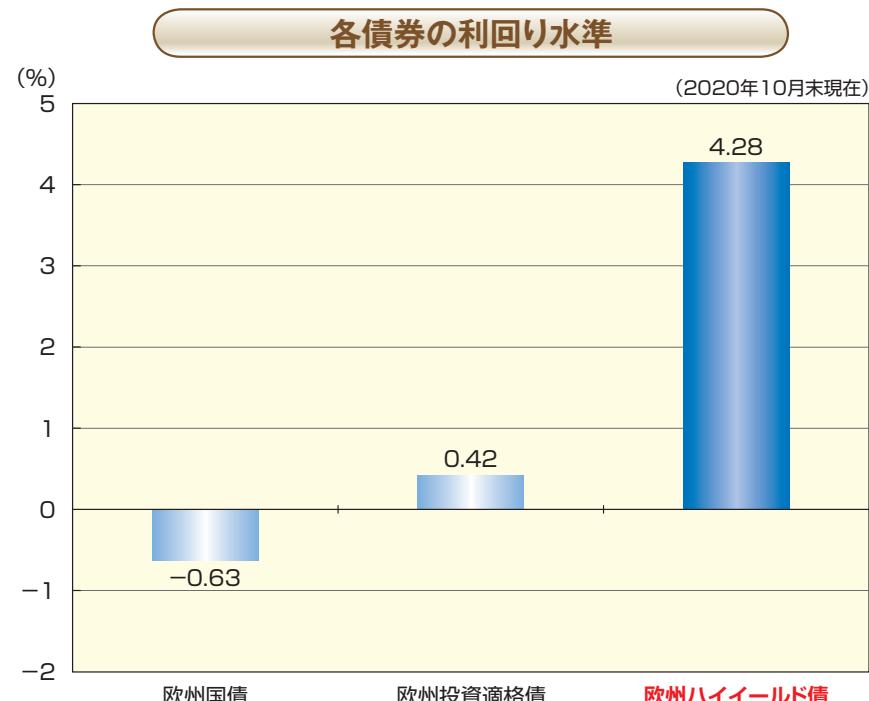
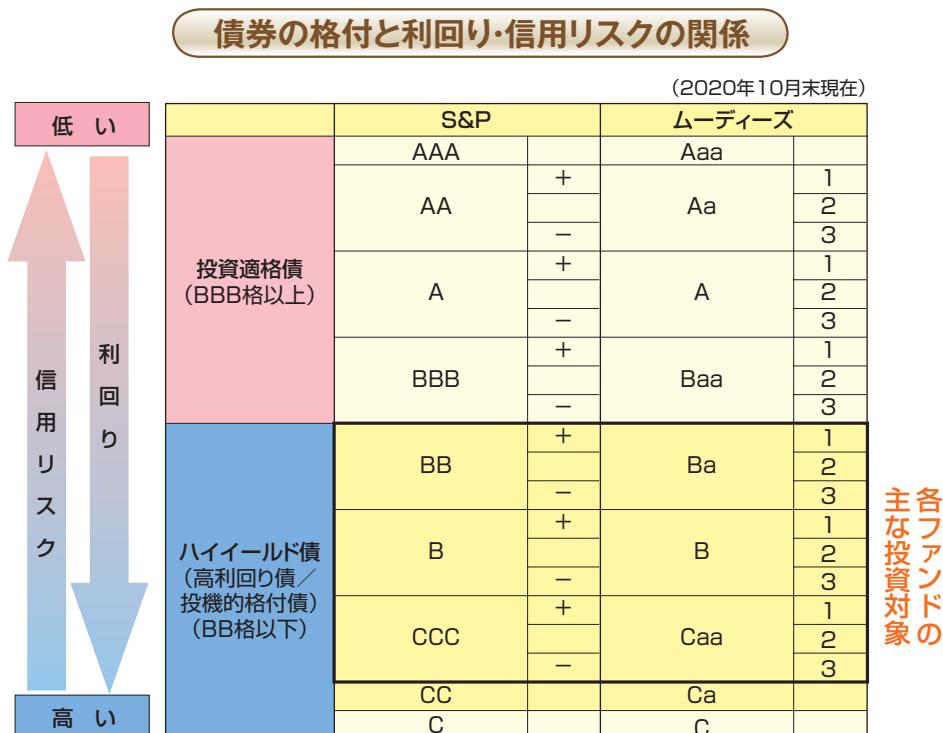
魅力1 相対的に高水準な利回り

■ハイイールド債とは、格付機関(S&P、ムーディーズなど)によってBB格以下の格付が付与されている債券をいいます。

■ハイイールド債は投資適格債と比較して信用リスク*が高い分、上乗せ金利があり、利回りは一般的に高くなります。

世界的な低金利環境下において、魅力的な利回りを有する欧州ハイイールド債に注目が集まっています。

*発行体の財務内容の悪化等により、債券の元金や利金等の支払が滞ったり、支払われなくなるリスクをいいます。



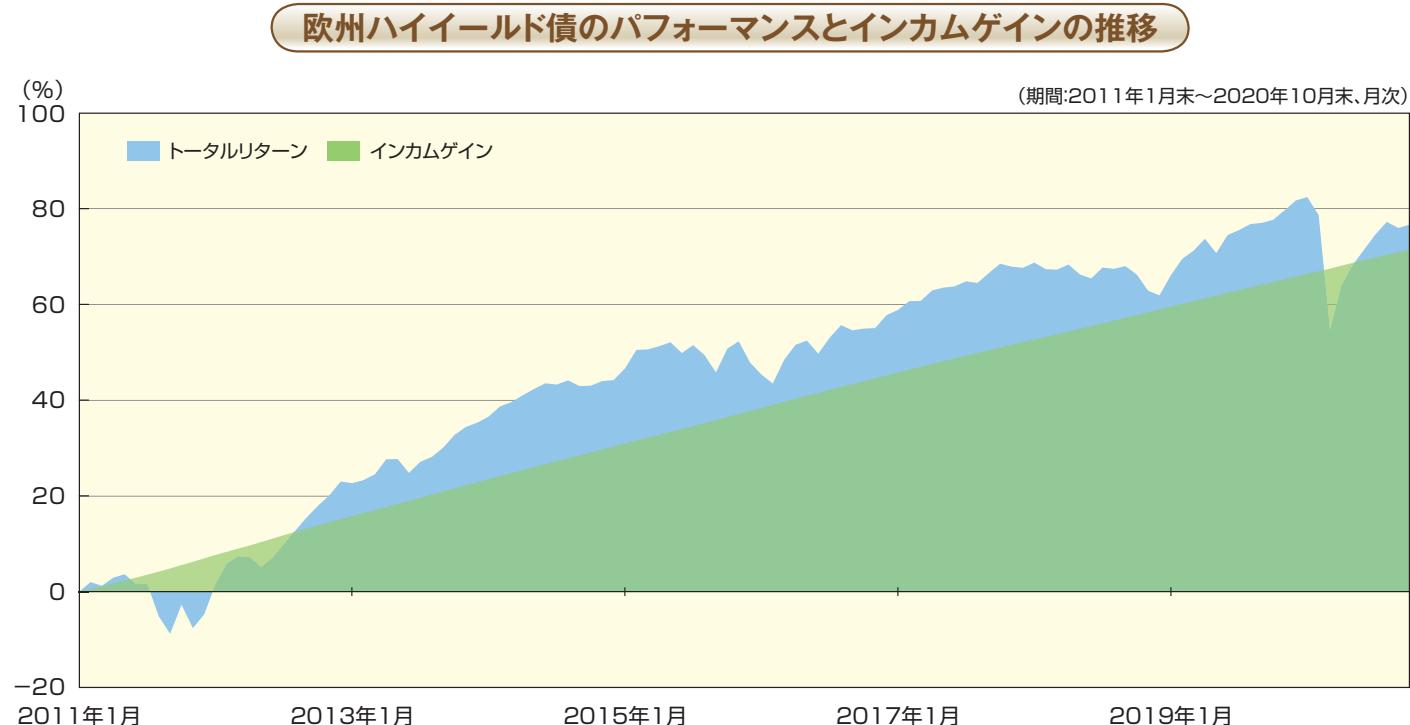
出所:S&P、ムーディーズのホームページの情報を基に、アムンディ・ジャパン株式会社が作成。
S&PのD格は省略。

出所:ブルームバーグ等のデータを基に、アムンディ・ジャパン株式会社が作成。
各指数については13ページの「当資料で使用した指標について」をご参照ください。
欧州国債はユーロ国債(10年)の利回りを使用。

上記は過去のデータであり、将来を示唆・保証するものではありません。また、各ファンドの運用実績ではありません。各ファンドの将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

魅力2 着実に積み上がるインカムゲイン

- 市場環境が変動する場合にも、欧州ハイイールド債のインカム（利子）は着実に積み上げられ、リターンの主な源泉となっています。
- 市場変動のリスクはありますが、世界的な低金利が続く中、好水準のインカムゲインが期待される欧州ハイイールド債は、魅力的な投資対象といえます。



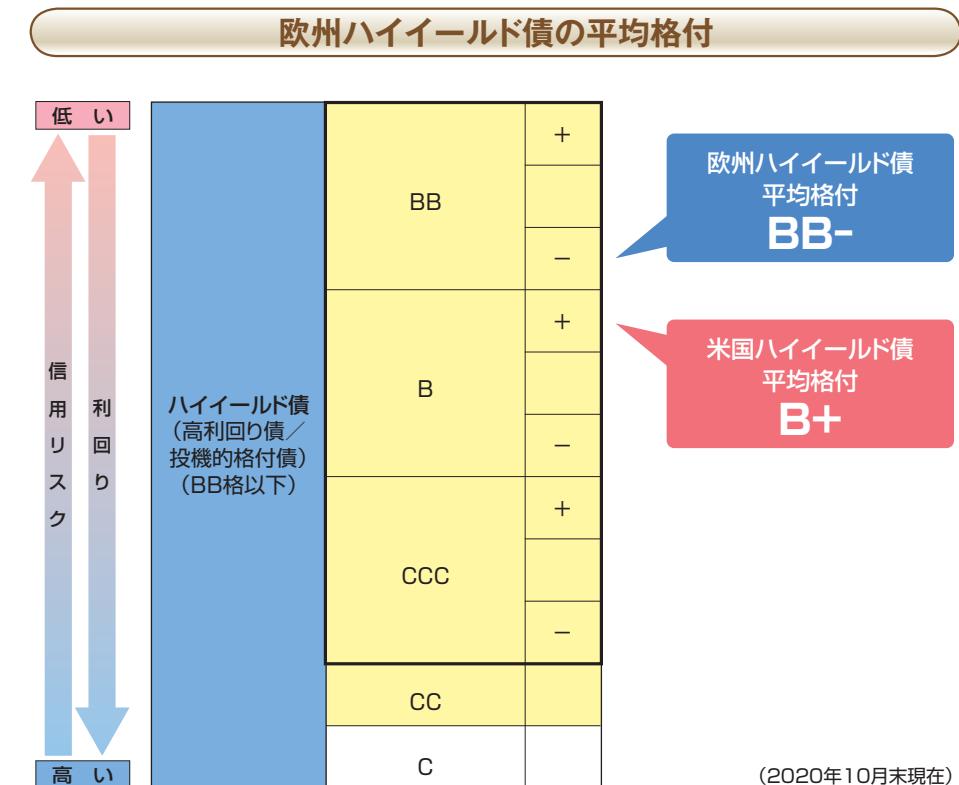
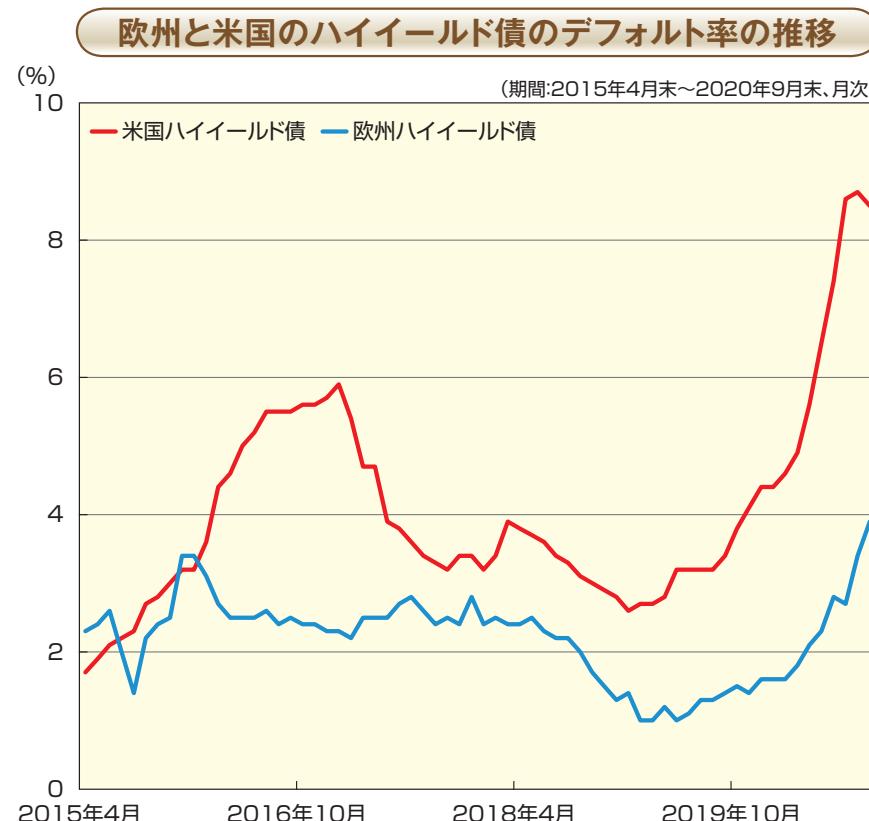
出所:ブルームバーグのデータを基に、アムンディ・ジャパン株式会社が作成。指数については13ページの「当資料で使用した指標について」をご参照ください。
上記グラフは、欧州ハイイールド債のトータルリターンに占めるインカムゲインの割合を示しています。トータルリターンとプライスリターンの変化率の差をインカムゲインとし、それそれを月次で累積し簡便的に算出したものであり、ファンドの運用成果とは異なります。

上記は過去のデータであり、将来を示唆・保証するものではありません。また、各ファンドの運用実績ではありません。各ファンドの将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

魅力3 相対的に信用力の高い欧州ハイイールド債

- 欧州ハイイールド債のデフォルト率は米国ハイイールド債よりも低い水準で推移しており、相対的に信用力が高いと考えられます。
- 欧州ハイイールド債の平均格付はBB-（2020年10月末現在）で、ハイイールド債の中では相対的に高い水準です。

デフォルト率：債券の元利金（利金および償還金）の支払ができないくなる銘柄の市場に占める割合のことです。
デフォルト率の上昇は企業の資金繰りが悪化、デフォルト率の低下は企業の資金繰りが改善していること等を表しています。



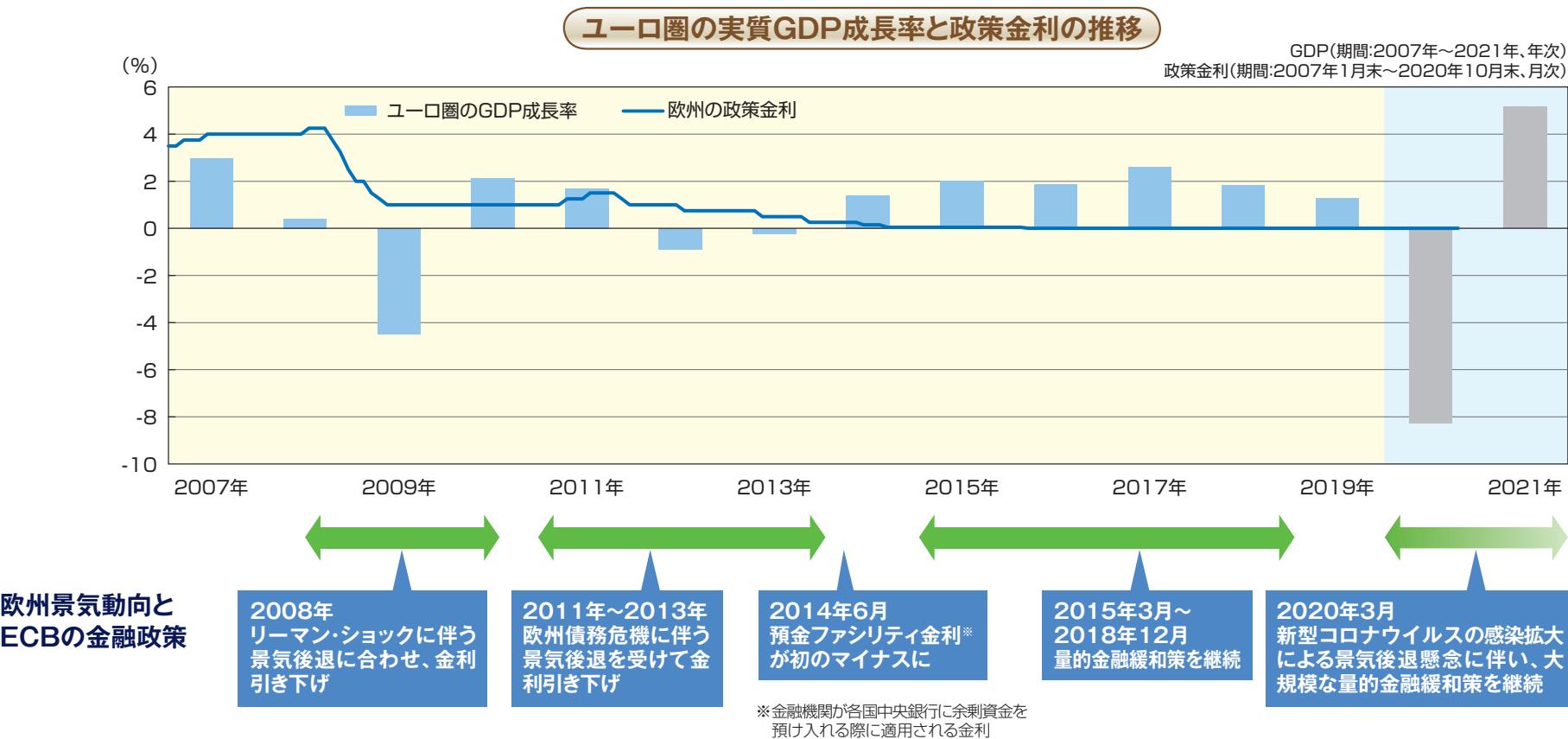
出所:ムーディーズのデータを基に、アムンディ・ジャパン株式会社が作成。

出所:S&Pおよびブルームバーグの情報を基に、アムンディ・ジャパン株式会社が作成。D格は省略。平均格付はインデックスベース。

上記は過去のデータであり、将来を示唆・保証するものではありません。また、各ファンドの運用実績ではありません。各ファンドの将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

ユーロ圏経済は2021年の回復に期待

- 新型コロナウイルスの感染拡大による景気後退懸念を受け、2020年のユーロ圏経済は後退が見込まれますが、2021年のGDP成長率は+5.2%と回復が予想されています。
- 世界経済の先行きについては不透明要素は残るもの、ECB(欧州中央銀行)は今後も量的金融緩和と低金利政策を継続すると見られており、金融政策がユーロ圏の経済を下支えするものと考えられます。



欧洲政策金利:レポ金利7日物主要資金供給オペ適用金利

出所:ブルームバーグ、国際通貨基金(IMF)「世界経済見通し2020年10月版」のデータを基に、アムンディ・ジャパン株式会社が作成。2020年以降のGDP成長率は予想値。

上記は過去のデータであり、将来を示唆・保証するものではありません。

当資料のご使用に際し、13ページのご留意事項を必ずご確認ください。

欧洲ハイイールド債市場の銘柄例

- 欧州ハイイールド債市場には、景気に左右されにくい業種や、グローバルに事業を展開している企業など、日本でも知名度の高い銘柄が多く存在します。
- ファンドの運用チームは、個別企業の業績や動向をしっかりと見極めながら、投資銘柄を厳選しています。

フィアット・クライスラー・オートモービルズ

傘下に大衆向け自動車を製造するフィアットや、高級車メーカーのマセラティを有する世界有数の自動車メーカー。2019年10月、同じく傘下のクライスラーやジープを擁する米国のFCAが、世界最古の自動車ブランドの一つであるブジョー等を擁するフランスのグループPSAと経営統合を発表。地域補完や販売・設備投資の合理化などによって一層の競争力強化を図る。



(写真はイメージです)

テレフォニカ・ヨーロッパ

スペインを本拠とし、固定通信やメディア・エンターテイメント事業、モバイル通信やペイTVサービスを提供する通信企業。高いシェアを持つドイツ、英国を中心に欧州で幅広く事業展開を行う他、中南米でも一定の事業基盤を構築。国内外の高いシェアを背景に、安定した財務運営を反映して堅調に推移、今後のコスト削減効果にも期待。



(写真はイメージです)

債券価格※1の推移



債券価格※2の推移



出所:ブルームバーグ、アムンディ・アセットマネジメントのデータを基に、アムンディ・ジャパン株式会社が作成。2020年10月末現在。

当ページに記載してある発行体は参考銘柄です。実質的な組入れを示唆・保証するものではありません。また個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。債券格付はS&Pの自国通貨建て長期債格付を使用。

上記は過去のデータであり、将来を示唆・保証するものではありません。

為替取引によるプレミアム/コストについて

■ユーロより金利が高い通貨で為替取引を行う場合は、**プレミアム（金利差相当分の収益）**が期待できます。
また、ユーロより金利が低い通貨で為替取引を行う場合は、**コスト（金利差相当分の費用）**が生じます。

為替取引とは、主に為替予約取引等を利用して、実質的な投資対象である通貨を換える手段です。米ドルコース、豪ドルコース、ブラジルレアルコース、資源国通貨コース、メキシコペソコースおよびトルコリラコースでは、ユーロ売り/取引対象通貨買いの為替取引を行います。

為替取引を行うことにより、円に対する取引対象通貨の為替変動の影響を受けます。円コース以外はユーロまたは取引対象通貨に対する円での為替ヘッジを行いませんので、ご注意下さい。

◆ユーロより金利が高い通貨で為替取引を行う場合は、
プレミアム（金利差相当分の収益）が期待できます。

為替取引によるプレミアムが期待できる例
為替取引による プレミアム
取引対象通貨の短期金利 > ユーロの短期金利
短期金利差相当額（為替取引によるプレミアム） を受取ることができます。

◆ユーロより金利が低い通貨で為替取引を行う場合は、
コスト（金利差相当分の費用）が生じます。

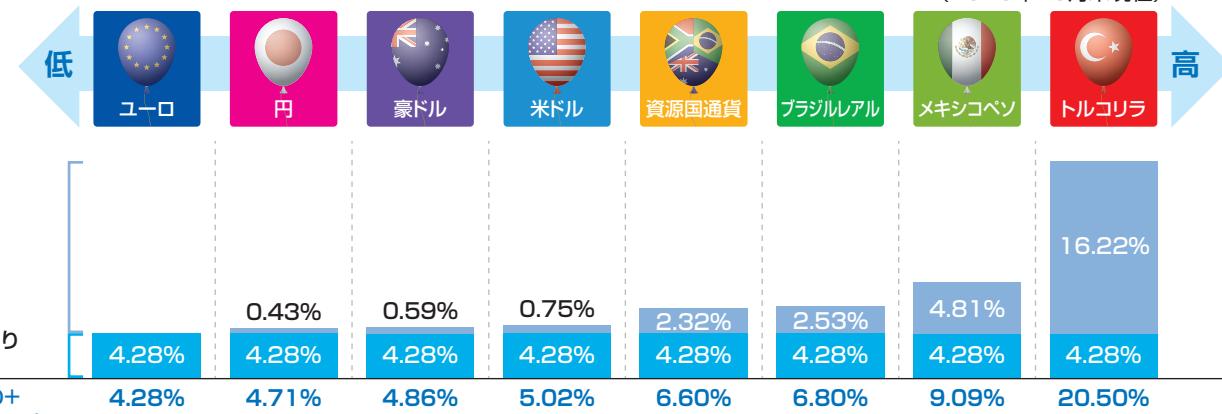
為替取引によるコストが発生する例
為替取引による コスト
取引対象通貨の短期金利 < ユーロの短期金利 短期金利差相当額（為替取引によるコスト）を 支払うことになります。

金利が低い通貨で為替取引を行う場合は、コスト（金利差相当分の費用）が生じますので、基準価額の下落要因となります。

為替取引を行う際に、**外国籍投資信託が保有する実質的なユーロ建資産額と為替取引額を一致させることができない**ため、ユーロと取引対象通貨の金利差を十分に享受することができない可能性があります。上記は過去のデータであり、将来を示唆・保証するものではありません。また、各ファンドの運用実績ではありません。各ファンドの将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

欧洲ハイイールド債の利回り+為替取引によるプレミアム/コスト

(2020年10月末現在)



為替変動リスクについて

◆実質的なユーロ建資産に対して取引対象通貨での為替取引を行うと、主に円に対するユーロの為替変動リスクから、円に対する各取引対象通貨の為替変動リスクへと変わります。◆為替取引を行う際に、外国籍投資信託が保有する実質的なユーロ建資産額と為替取引額を一致させることができないため、ユーロと取引対象通貨の金利差を十分に享受することができない可能性があります。◆円コースでは対円での為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではなく、主に円に対するユーロの為替変動の影響を受ける可能性があります。◆ユーロコースについては、対円での為替ヘッジを行いません。

- 為替取引によるプレミアム/コストは、およそ取引対象通貨の短期金利からユーロの短期金利を差し引いた値で簡便的に計算しています。
- 小数点以下、四捨五入の関係で為替取引によるプレミアム/コストとヨーロッパハイイールド債の利回りの合計が一致しない場合があります。
- 各通貨の短期金利および指数については、13ページの「当資料で使用した短期金利について」「当資料で使用した指数について」をご参照ください。
- 各通貨の短期金利は、先物為替レート等を概算する際の目安として参考する金利であり、実際に為替取引を行う先物為替等の市場値から逆算される金利とは異なる場合があります。したがって上記の2通貨間の金利差から計算される為替取引によるプレミアム/コスト相当値が、実際のファンドで生じる為替取引によるプレミアム/コストと同一になるとは限りません。
- 将来の為替取引によるプレミアム/コストの数値を保証するものではありません。
- ブラジルレアルと資源国通貨については、実際の為替取引はNDF取引等によって行われます。NDF取引については8ページの「NDF取引について」をご参照ください。

出所:ブルームバーグのデータを基に、アムンディジャパン株式会社が作成。

取引対象通貨の為替変動について(対円為替レート)

- 為替市場の動向によっては、為替差益によるリターンが期待できる場合があります。
- ユーロおよび取引対象通貨(円コースを除く)が対円で上昇(円安)した場合、為替差益を得ることができます。反対に、ユーロおよび取引対象通貨(円コースを除く)が対円で下落(円高)した場合、為替差損が発生します。
- *新興国の通貨は、先進国の通貨と比較して変動幅が大きい傾向があります。

各通貨(対円)の推移



NDF取引について

■NDF取引とは、Non Deliverable Forward(ノン・デリバラブル・フォワード)の略で、為替予約取引と類似した取引手法です。通貨取引に対する規制等の理由から、為替予約取引を行うことが難しい通貨の取引に活用されています。実際の通貨の受渡しを伴わず、取引時に当事者間で設定したレートと、決済期日の市場レートとの差額を算出し、差損益だけを主要通貨(主に米ドル)で決済する先物取引です。

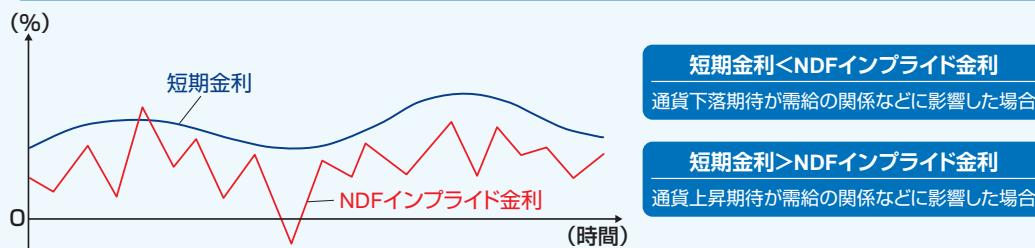
NDF取引の留意点

◆NDF取引を用いた為替取引においては、為替市場や金利、需給といった変動要因により、NDFインプライド金利(NDF取引時のレートから想定される金利)が、当該通貨の短期金利の水準から大きく乖離する場合があります。この場合、想定される期待収益性と運用成果が大きく異なる場合がありますのでご留意ください。

◆NDFインプライド金利は、①スポットレートの変動②短期金利差③為替の見通しを反映した需給などによって変動します。

	対象通貨	決済	投資家	流動性	金利差
為替予約取引	米ドル、ユーロ、豪ドル、英ポンドなど 先進国通貨やメキシコペソ、トルコリラなど	予約した 対象通貨現物	一般企業	高い	連動する
NDF取引	中国元、ブラジルリアル、インドルピー、 インドネシアルピアなどの規制通貨	主に米ドル による差金決済	主に金融機関	低い	連動しにくい

短期金利とNDFインプライド金利が乖離するイメージ



上記はNDF取引や為替市場に関する説明の一部であり、NDF取引および為替市場についてすべてを網羅したものではありません。上記の要因以外でも、ユーロの短期金利が上昇した場合は、為替取引によるプレミアムが減少したり、為替取引によるコストが生じる可能性があります。

上記は過去のデータであり、将来を示唆・保証するものではありません。また、各ファンドの運用実績ではありません。各ファンドの将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

ファンドの特色

1 各ファンドは、欧州のハイイールド債（高利回り債／投機的格付債）を実質的な主要投資対象とします。

- 各ファンドは、欧州のハイイールド債を主要投資対象とする外国籍投資信託「ストラクチュラ-欧州ハイ・イールド・ボンド」または「ストラクチュラ-欧州ハイ・イールド・ボンド-ブラジルレアル」と、国内籍投資信託「CAマネーピールファンド（適格機関投資家専用）」を投資対象とするファンド・オブ・ファンズ方式^{*}で運用します。
- ※ファンド・オブ・ファンズとは複数の投資信託証券に投資する投資信託のことをいいます。投資信託証券を以下、「投資信託」と記載します。
- 資源国通貨コースは、各外国籍投資信託の3つのシェアクラスに均等に投資を行います。
- 欧州のハイイールド債の運用は、アムンディ・アセットマネジメントが行います。

2 「アムンディ・欧州ハイ・イールド債券ファンド」は、投資する外国籍投資信託における為替取引が異なる8つのコースから構成されています。

- 米ドルコース、豪ドルコース、ブラジルレアルコース、資源国通貨コース、メキシコペソコース、トルコリラコースではユーロ売り／取引対象通貨買いの為替取引を行います。
- 円コースでは為替変動リスクの低減を目的として、ユーロ売り／円買いの為替取引（対円での「為替ヘッジ」といいます）を行います。
- ユーロコースでは対円での為替ヘッジを行いません。

3 各ファンドは、毎決算時（原則として毎月8日。休業日の場合は翌営業日とします）に、原則として収益分配方針に基づき収益分配を行います。

- 分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益（評価益を含みます）等の全額とします。
- 分配金額は、委託会社が基準価額水準および市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。したがって、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
- 留保益の運用については特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき元本部分と同一の運用を行います。

◆資金動向および市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

アムンディ 運用資産額 欧州No.1^{*1}の運用会社

フランス・パリに本拠点を置くアムンディは、1894年に農業系金融機関の中央機関として設立されたフランス最大かつ世界有数のユニバーサルバンク、クレディ・アグリコル・グループの資産運用会社です。世界でもトップクラスの運用資産額を有します。グループのネットワークを存分に活かし、世界30カ国以上に拠点を展開、**価値ある資産運用**を世界中のお客様にお届けしています。堅実かつ信頼のおけるパートナーとして、40年以上にわたり日本のお客様にも資産運用サービスをご提供しています。

運用資産額	欧州	世界
約206兆円 ^{*2}	No.1 ^{*1}	TOP10 ^{*1}

*1 インベストメント・ベンション・ヨーロッパによる資産運用会社トップ500社（2020年6月版、2019年12月末の運用資産額）に基づく。

*2 2020年9月末現在。約1兆6,620億ユーロ、1ユーロ=124.17円で換算。

*ユニバーサルバンクとは一般的な預金や融資などの銀行業務だけでなく、証券取引、保険契約、信託業務、リース事業など幅広い業務を行うことが認められている総合的な金融機関です。

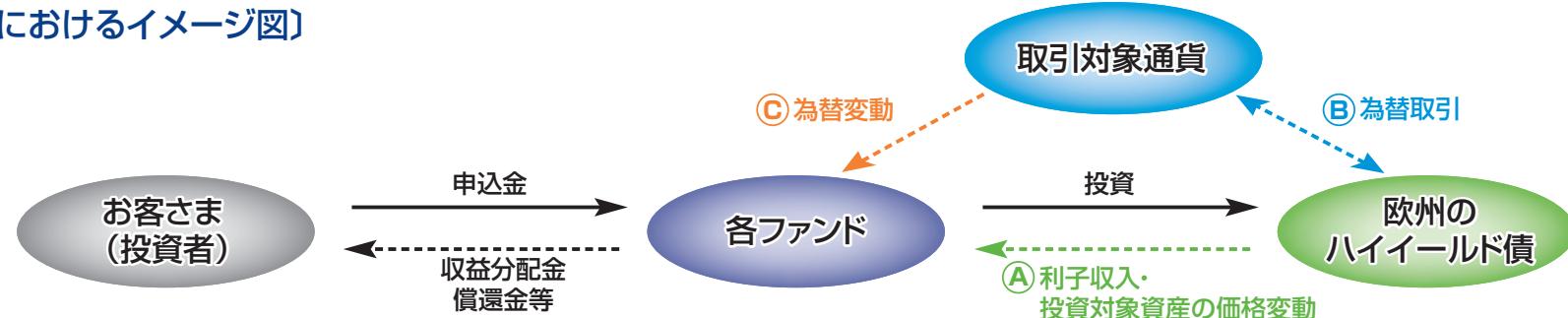
出所：アムンディの情報を基に、アムンディ・ジャパン株式会社が作成。

通貨選択型投資信託の収益/損失に関するご説明

〔通貨選択型投資信託の収益のイメージ〕

■ 通貨選択型の投資信託は、株式や債券などの投資対象資産への投資に加えて、為替取引の対象通貨を選択できるように設計された投資信託です。なお、各ファンドの実質的な投資対象資産は欧州のハイイールド債です。

〔各ファンドにおけるイメージ図〕



* 取引対象通貨が円以外の場合には、当該取引対象通貨の対円での為替リスクが発生することに留意が必要です。

* 各ファンドは、実際の運用においてはファンド・オブ・ファンズ方式により運用を行います。

* ユーロコースでは原則として対円での為替ヘッジを行いません。円コースでは、対円での為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図ります。

■ 各ファンドの収益源としては、以下の3つの要素が挙げられます。
これらの収益源に相応してリスクが内在していることに注意が必要です。

収益の源泉	=	(A) 欧州のハイイールド債	+	(B) 为替取引	+	(C) 为替変動
収益を得られる ケース		利子収入・投資対象資産の値上がり/値下がり		为替取引によるプレミアム/コスト		为替差益/为替差損
損失やコストが 発生するケース		<ul style="list-style-type: none"> 金利の低下 発行体の信用状況の改善 <div style="text-align: center;">債券価格の上昇</div> <div style="text-align: center;">債券価格の下落</div> <ul style="list-style-type: none"> 金利の上昇 発行体の信用状況の悪化 		<ul style="list-style-type: none"> 取引対象通貨の短期金利 > ユーロの短期金利 <div style="text-align: center;">プレミアム（金利差相当分の収益）の発生</div> <div style="text-align: center;">コスト（金利差相当分の費用）の発生</div> <ul style="list-style-type: none"> 取引対象通貨の短期金利 < ユーロの短期金利 *ユーロコースを除きます*¹。 		<ul style="list-style-type: none"> 円に対して取引対象通貨高 円に対してユーロ高（ユーロコースの場合） <div style="text-align: center;">为替差益の発生</div> <div style="text-align: center;">为替差損の発生</div> <ul style="list-style-type: none"> 円に対して取引対象通貨安 円に対してユーロ安（ユーロコースの場合） *円コースを除きます*²。

*1 ユーロコースでは、原則として対円での為替ヘッジを行いません。

*2 円コースでは、原則として対円での為替ヘッジを行うことで為替変動リスクの低減を図ります。ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではなく、主に円に対するユーロの為替変動の影響を受ける可能性があります。

* 一部の取引対象通貨については、NDF取引を用いて為替取引を行います。NDF取引による価格は需給や当該通貨に対する期待等により、金利差から想定される為替取引の価格と大きく乖離し、当該金利差から想定される期待収益性と運用成果が大きく異なる場合があります。

* 市況動向等によっては、上記の通りにならない場合があります。

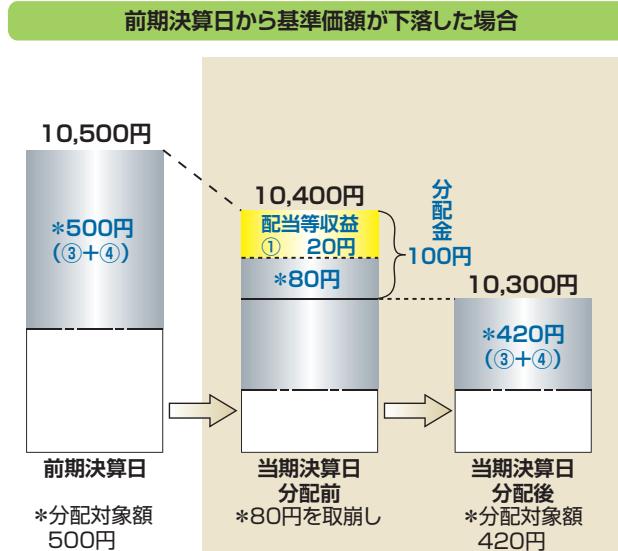
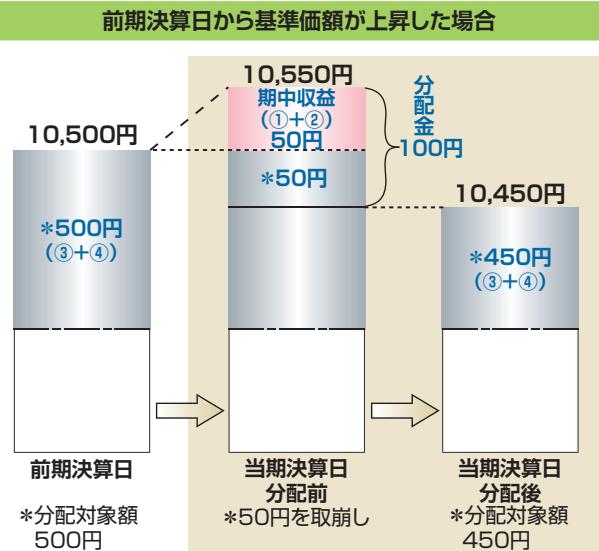
収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。



- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの收益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

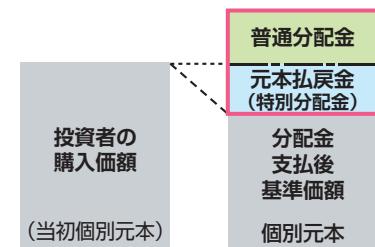


(注)分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。
分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご留意ください。

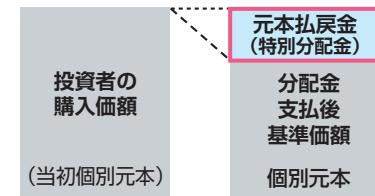
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。
また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金：個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金(特別分配金)：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

ファンドの投資リスク

○基準価額の変動要因（基準価額の変動要因（投資リスク）は下記に限定されるものではありません。）

各ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、主として債券など値動きのある有価証券（外貨建資産には為替変動リスクがあります）に実質的に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、**投資元本が保証されているものではありません。**各ファンドの基準価額の下落により、損失を被り投資元本を割込むことがあります。各ファンドの運用による損益はすべて投資者に帰属します。なお、投資信託は預貯金とは異なります。

① 価格変動リスク

各ファンドが主要投資対象とする外国籍投資信託は、主に欧州のハイイールド債（高利回り債／投機的格付債）を投資対象としています。債券の価格はその発行体の経営状況および財務状況、一般的な経済状況や金利、証券の市場感応度の変化等により価格が下落するリスクがあります。一般的に金利が上昇した場合には債券価格は下落します。**当該債券の価格が下落した場合には、各ファンドの基準価額も下落し、損失を被り投資元本を割込むことがあります。**

② 為替変動リスク

■米ドルコース、豪ドルコース、ブラジルレアルコース、資源国通貨コース、メキシコペソコース、トルコリラコース
・各ファンドの主要投資対象である外国籍投資信託は、実質的にユーロ建資産に投資し、原則としてユーロ売り、取引対象通貨買いの為替取引を行います。そのため、各ファンドは円に対する取引対象通貨の為替変動の影響を受け、**取引対象通貨の為替相場が円高方向に進んだ場合には、各ファンドの基準価額は下落し、損失を被り投資元本を割込むことがあります。**また、為替取引を行う際に実質的なユーロ建資産額と為替取引額を一致させることはできませんので、基準価額は主に円に対するユーロの為替変動の影響を受ける場合があります。なお、**為替取引を行う際に取引対象通貨の金利がユーロ金利より低い場合、ユーロと取引対象通貨との金利差相当分の費用（為替取引によるコスト）がかかるごとにご留意ください。**

・一部の取引対象通貨については、外国籍投資信託においてNDF取引※（ノンデリバラブル・フォワード、直物為替先渡取引）を用いて為替取引を行います。**NDF取引による価格は需給や当該通貨に対する期待等により、金利差から想定される為替取引の価格と大きく乖離し、当該金利差から想定される期待収益性と運用成果が大きく異なる場合があります。**

※NDF取引とは、現物通貨の取引規制が厳しい通貨や為替市場が未成熟な通貨の為替取引を行う場合に、あらかじめ約定したNDFレートと満期時の直物為替レートとの差から計算される差金のみをユーロまたはその他主要通貨で決済する相対取引です。

■ユーロコース

ファンドの主要投資対象である外国籍投資信託は、実質的にユーロ建資産に投資し、原則として対円での為替ヘッジを行いませんので、主に円に対するユーロの為替変動の影響を大きく受けます。**円高になった場合、投資する外貨建資産の円貨建価値が下落し、ファンドの基準価額が下落する要因となり、損失を被り投資元本を割込むことがあります。**

■円コース

ファンドの主要投資対象である外国籍投資信託は、実質的にユーロ建資産に投資し、原則として対円での為替ヘッジを行うことで為替変動リスクの低減を図ります。ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではなく、主に円に対するユーロの為替変動の影響を受ける可能性があります。なお、**為替ヘッジを行う際に円金利がユーロ金利より低い場合、ユーロと円との金利差相当分の費用（為替ヘッジコスト）がかかるごとにご留意ください。**

③ 流動性リスク

各ファンドに対して短期間で大量の換金の申込があった場合には、各ファンドの主要投資対象である外国籍投資信託において、組入有価証券の売却および為替取引の解消を行いますが、ハイイールド債および為替市場の特性から市場において十分な流動性が確保できない場合があり、その場合には市場実勢から想定される妥当性のある価格での組入有価証券の売却および為替取引の解消が出来ない場合、あるいは当該換金に十分対応する金額の組入有価証券の売却および為替取引の解消が出来ない場合があります。**この場合、各ファンドの基準価額の下落要因となり、損失を被り投資元本を割込むことがあります。**

④ 信用リスク

・各ファンドが実質的に投資する債券の発行体や主要投資対象の外国籍投資信託が行う為替取引等の取引相手方等の経営・財務状況の変化およびそれに関する外部評価の変化を含む信用状況等の悪化という事態は信用リスクの上昇を招くことがあります、その場合には実質的に投資する債券の価格の下落および為替取引等に障害が生じ、不測のコスト上昇等を招くことがあります。**この場合、各ファンドの基準価額の下落要因となり、損失を被り投資元本を割込むことがあります。**

・債券の発行体等および為替取引等の取引相手方が破産した場合は、投資資金の全部あるいは一部を回収できなくなることがあります。その結果、各ファンドの基準価額が下落し、損失を被り投資元本を割込むことがあります。

ご留意事項等

ご留意事項

- 当資料は、販売用資料としてアムンティ・ジャパン株式会社が作成したものです。法令等に基づく開示書類ではありません。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性あるいは完全性について保証するものではありません。また、当資料中のいかなる内容も、将来の投資収益等を示唆または保証するものではありません。当資料中には、特定の資産、市場等に関する予測および将来見通しが含まれていることがあります、実際に生起する事象はかなり相違することがあります。当資料に記載されている内容は、全て当資料作成日現在のものであり、今後予告なしに変更されることがあります。
- ファンドは、投資信託証券への投資を通じて主に債券など値動きのある有価証券（外貨建資産には為替変動リスクがあります。）に実質的に投資しますので、組入れた債券の値動き、為替相場等の影響によって基準価額は変動します。したがって金融機関の預貯金等と異なり、購入金額を下回り、損失が生じる場合があり、元金および分配金が保証されているものではありません。
- 投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うことになります。
- 投資信託は預金ではなく、預金保険の対象とはなりません。また、登録金融機関を通じて購入いただいた投資信託は投資者保護基金の対象とはなりません。
- 投資信託は保険契約ではなく、保険契約者保護機構の保護の対象とはなりません。
- 購入のお申込みを行う場合には、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）を必ずお受取りいただき、ファンドの内容、リスク、手数料・費用等の詳細をご確認の上、ご自身の判断でお申込みください。
- 投資信託のお取引に関しては、クーリング・オフの適用はありません。

当資料で使用した短期金利について

ユーロ:3ヵ月LIBOR(ロンドン・インターバンク・オファード・レート)、米ドル:3ヵ月LIBOR、豪ドル:3ヵ月BBSW(豪州銀行間取引金利)、ブラジルレアル:国債3ヵ月、資源国通貨:ブラジルレアル(国債3ヵ月)、豪ドル(3ヵ月BBSW(豪州銀行間取引金利))、南アフリカランド(ヨハネスブルグ・インターバンク・アグリード・レート3ヵ月)の各短期金利を均等配分、メキシコペソ:T-Bill3ヵ月、トルコリラ:3ヵ月TRLIBOR、円:3ヵ月LIBOR

当資料で使用した指標について

欧州ハイイールド債:ICE BofA European Currency High Yield Constrained Index(ユーロベース)、米国ハイイールド債:ICE BofA US High Yield Constrained Index(米ドルベース)、欧州投資適格債:ブルームバーグ・バークレイズ・ユーロ社債インデックス(ユーロベース)

- ICEの各インデックスは、ICE Data Indices, LLC又はその関係会社（「ICE Data」）のサービスマーク／商標であり、各インデックスとともに、各ファンドに関連して、ライセンシーによる使用のためにライセンスされています。ライセンシー、各ファンドのいずれも、ICE Dataが後援、推薦、販売又は販売促進をするものではありません。ICE Dataは、有価証券全般への投資若しくは特に各ファンドへの投資、又はインデックスの全般的な株式市場のパフォーマンスを追跡する能力の妥当性について、一切保証を行いません。ICE Data及びその第三者サプライヤーは、明示又は黙示の一切の保証を行うものではなく、明示的に、インデックス、インデックス値及びインデックスに含まれるデータについて、商品性及び特定の目的への適合性の保証を否認します。如何なる場合においても、ICE Dataは、特別損害、懲罰的損害、直接損害、間接損害又は結果的損害(逸失利益を含みます。)の賠償責任を負わず、それらの損害の可能性を通知されていた場合であっても同様とします。
- ブルームバーグは、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーの商標およびサービスマークです。バークレイズは、ライセンスに基づき使用されているバークレイズ・バンク・ピーエルシーの商標およびサービスマークです。ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社（以下「ブルームバーグ」と総称します。）またはブルームバーグのライセンサーは、ブルームバーグ・バークレイズ・インデックスに対する一切の独占的権利を有しています。
- 当資料中に引用した各インデックス（指標）の著作権・知的財産権及びその他一切の権利は、各インデックスの算出元に帰属します。また各インデックスの算出元は、インデックスの内容を変更する権利及び発表を停止する権利を有しています。

お申込みメモ

お申込みの際は、投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

設 定 日	「ユーロコース」、「ブラジルレアルコース」、「資源国通貨コース」、「円コース」 2011年1月31日 「豪ドルコース」、「トルコリラコース」 2011年10月27日 「米ドルコース」、「メキシコペソコース」 2014年1月14日
信 託 期 間	2026年4月8日まで
決 算 日	年12回決算、原則毎月8日です。休業日の場合は翌営業日とします。
収 益 分 配	年12回。原則として毎決算時に収益分配方針に基づいて分配を行います。 販売会社によっては分配金の再投資が可能です。
申込締切時間	原則として毎営業日の午後3時までに購入・換金のお申込みができます。 販売会社により異なる場合があります。詳しくは販売会社にお問合せください。
購入・換金申込受付不可日	ユーロネクストの休業日、フランスの祝休日、ルクセンブルクの銀行休業日のいずれかに該当する場合、または12月24日である場合には、受け付けません。
購 入 単 位	販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社にお問合せください。

購 入 価 額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
購 入 代 金	販売会社が定める期日までにお支払いください。
換 金 単 位	販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社にお問合せください。
換 金 価 額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額とします。
換 金 代 金	換金申込受付日から起算して、原則として5営業日目から販売会社においてお支払いします。
スイッティング	販売会社によっては、スイッティングの取扱いを行う場合があります。 スイッティングの際には、購入時および換金時と同様に、費用・税金がかかる場合があります。詳しくは販売会社にお問合せください。
課 税 関 係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。 配当控除および益金不算入制度は適用されません。
換 金 制 限	委託会社の判断により、一定の金額を超える換金申込には制限を設ける場合があります。

スイッティングについて

- スイッティングは、ユーロコース、米ドルコース、豪ドルコース、ブラジルレアルコース、資源国通貨コース、メキシコペソコース、トルコリラコース、円コースの各ファンド間において行うことが可能です。
- 原則、スイッティングの際には、ご換金時と同様に、譲渡益(個人の場合)に対して課税されます。(なお、税制が改正された場合などには変更になる場合があります。)また、ご換金時と同様に信託財産留保額がかかりますのでご留意ください。

手数料・費用等

お申込みの際は、投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

投資者の皆様に実質的にご負担いただく手数料等の概要は以下のとおりです。またこれらの費用は事前に計算できないことから実際にご負担いただく費用の金額、合計額、それらの上限額および計算方法は記載しておりません。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

投資者が直接的に負担する費用

購入時

購入時手数料

購入申込受付日の翌営業日の基準価額に、販売会社が独自に定める料率を乗じて得た金額とします。
当資料作成日現在の料率上限は、**3.3%(税抜3.0%)**です。詳しくは販売会社にお問合せください。

換金時

信託財産留保額

換金申込受付日の翌営業日の基準価額に**0.1%**を乗じて得た金額とします。

換金時手数料

ありません。

投資者が投資信託財産で間接的に負担する費用

保有期間

運用管理費用 (信託報酬)

信託報酬の総額は、投資信託財産の純資産総額に対し**年率1.111%(税抜1.01%)**を乗じて得た金額とし、各ファンドの計算期間を通じて毎日、計上されます。
実質的な負担の上限:純資産総額に対して**年率1.781%(税込)***
※各ファンドの信託報酬年率1.111%(税込)に投資対象とする投資信託証券のうち信託報酬が最大のもの(年率0.67%)を加算しております。各ファンドの実際の投資信託証券の組入状況等によっては、実質的な信託報酬率は変動します。
◆上記の運用管理費用(信託報酬)は、当資料作成日現在のものです。

その他の費用・手数料

その他の費用・手数料として下記の費用等が投資者の負担となり、ファンドから支払われます。
・有価証券売買時の売買委託手数料および組入資産の保管費用などの諸費用
・信託事務の処理等に要する諸費用(監査費用、目論見書・運用報告書等の印刷費用、有価証券届出書関連費用等を含みます。)
・投資信託財産に関する租税 等
※その他、組入投資信託証券においては、ルクセンブルクの年次税(年率0.01%)などの諸費用がかかります。
※その他の費用・手数料の合計額は、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することはできません。

委託会社、 その他の関係法人

委託会社：アムンディ・ジャパン株式会社
受託会社：株式会社 りそな銀行

お問合せ先

委託会社の名称：アムンディ・ジャパン株式会社
お客様サポートライン：0120-202-900(2021年6月30日まで)
03-3593-5911*(2021年7月1日から)
*通話料は有料です
(受付は委託会社の営業日の午前9時から午後5時まで)
ホームページアドレス：<https://www.amundi.co.jp>

当資料のご使用に際し、13ページのご留意事項を必ずご確認ください。